

ワックンカルタで 鶴見を散歩

～寺尾の緑と水辺をたどる～

●お散歩に出るときは、小さく折ってお持ちください。
折り方：すでに2つ折りにされているそれぞれの横幅を
半分に折ります。(①・②こちらの面を山折り)
4枚の蛇腹折りにされているものを全部を、縦幅
の半分に折ります。(③裏面で谷折り)

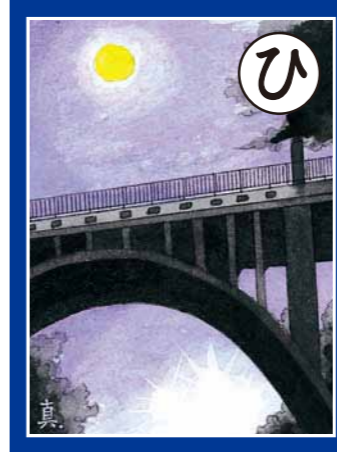


発行：鶴見区役所 企画・編集「魅力づくりの会」

●「ワックン鶴見カルタ」とは
「鶴見を好きになってほしい！」鶴見の魅力を伝える
目的で、鶴見まちづくり推進会議（魅力づくり部会
街の魅力企画班）が企画しました。
平成21年度に鶴見にちなんだ読み札を公募し、応募
総数1,031から45枚を決定しました。
それぞれの読み札にあった絵札を、区民ボランティ
アの皆さんに描いていただき、鶴見区の魅力・鶴見ら
しさを織り込んだ区民手作りの「ワックン鶴見カル
タ」が22年度に完成しました。
そのカルタで紹介された場所の一部を、お散歩マッ
プにしました。
●どこで体験できるの？
鶴見区内の地区センターやコミュニティハウスで体
験することができます。鶴見区役所にて、イベント用
にカルタやバトルシートの貸出しもしています。



発行：平成27年8月
横浜市鶴見区役所地域振興課 横浜市鶴見区鶴見中央3-20-1
電話：045-510-1687～1689 FAX：045-510-1892
Eメール tr-chishin@city.yokohama.jp
ウェブサイト <http://www.city.yokohama.lg.jp/tsurumi/kanko/midokoro/sansaku.html>



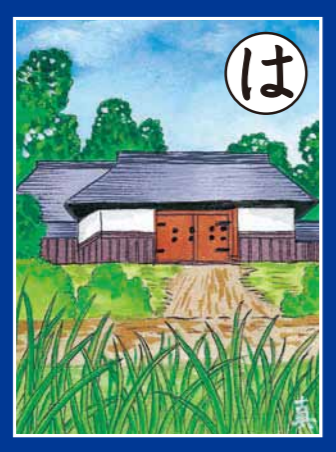
響橋
みんなは呼んでる
めがね橋

国道1号線をまたぐ美しいアーチ形の響橋は、昭和16年（1941）に開通しました。「夜霧の第二国道」の歌でも有名な第2国道は、昭和15年（1940）に予定されていた東京オリンピックのマラソン道路として造られました。橋の完成後に両側から山を切り崩し、中央部分に土が残り、まるでめがねのようだったことから「めがね橋」と呼ばれるようになったともいわれています。近くにあった洋館は、映画「陽のあたる坂道」に登場しました。



寺尾城
鶴見にあった
お城だよ

中世の頃、寺尾の城主諏訪三河守五代の城（館）があった馬場の殿山には、「寺尾城址」の碑があります。空堀や土塁など、中世の城郭を伝える貴重な遺構は、殿山公園として整備・保存されました。城址麓の観音堂跡からは、黄瀬戸の壺に入った古銭4千枚が出土しました。馬場や諏訪坂などは寺尾城や諏訪氏ゆかりの地名です。

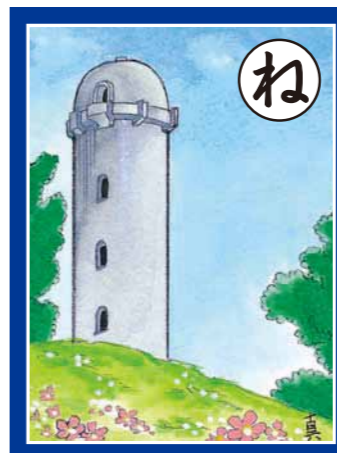


馬場の赤門
名主の門

江戸時代、東寺尾、北寺尾、西寺尾、馬場の4か村の総代名主を勤めた澤野家は、幕府から名字帯刀と紅殻塗りの門を許されました。幕末には赤門の2階に村役人たちが集まって英語の勉強もしたそうです。残された長屋門は、馬場赤門公園として整備されました。



◎谷折り



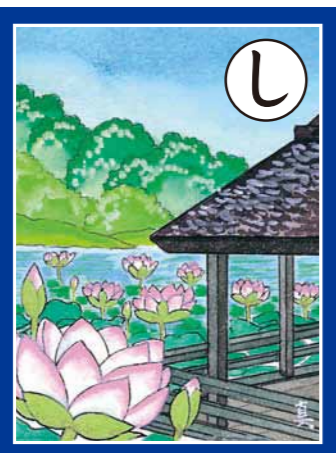
ねぎぼうず
空の青さと
競ってる

住宅地としてめざましく発展した鶴見の高台に飲料水を供給するため、昭和8年（1933）に配水池と配水塔が計画され、昭和12年（1937）に完成しました。馬場の高台の天空にそびえる高さ26mの円筒形の配水塔は、「ねぎぼうず」の愛称で親しまれている鶴見のランドマークの一つです。



源平五色の椿
寶藏院

鎌倉時代創建と伝わる馬場の寶藏院には、1本の幹から五色の花を咲き分ける「源平五色の椿」があります。推定樹齢600年以上です。「かながわの名木百選」に選ばれ、3月中旬から5月初旬が見ごろです。一年中洄れることのない霊泉延命水もあります。朱塗りの本堂には、弁才天の化身「白蛇さま」もまつられています。



四季の花
咲き競う
花木園

馬場花木園は、市内では珍しい和風の庭園です。カタクリ、ヒオウギ、桔梗など、山野草の区画が整備され、梅林、竹林、菖蒲田、藤棚、牡丹の小路、萩のトンネルなどもあり、新緑、紅葉、四季折々の草花が楽しめます。池のほとりの四阿からは水鳥が遊ぶ姿も見られます。園内を一望できる休憩棟は、茶会や句会などに利用されています。

◎山折り